

公 安 委 員 会 定 例 会 議 の 概 要

開催月日：令和7年10月2日（木）

出席者

○公安委員会

久家委員長、渡邊委員、平川委員

○県警察

警察本部長、警務部長、生活安全部長、交通部長、警備部長、情報通信部長、首席監察官、警察学校長、警務部総括参事官、刑事部総括参事官、総務課長、監察課長、交通企画課長、交通指導課長、運転免許課聴聞官、公安委員会補佐室長

大分県公安委員会定例会議における協議事項、大分県警察からの報告事項等は次のとおりであり、それぞれの事項について審議を行いました。

協 議 事 項

○ 運転免許の行政処分について

警察本部から、運転免許の取消しに係る意見聴取事案等に関し、各事案概要、処分内容、被処分者の意見・弁明等についての説明がなされ、協議の結果、原案のとおり取消処分等を行うことを決裁した。

報 告 事 項

○ 令和7年大分県議会第3回定例会の対応状況について

警察本部から、令和7年大分県議会第3回定例会の対応状況に関し、会期や質問対応状況等について、報告がなされた。

○ 令和7年度警察官A（大学卒業程度）採用試験の実施結果について

警察本部から、令和7年度警察官A（大学卒業程度）採用試験の実施結果について、報告がなされた。

公安委員から「障がいのある方の中には警察官になりたいという希望を持っている方がいる。そうした方にどのように説明するべきか」旨の発言がなされ、警察本部から「障がいの種類・程度にもよるが、サイバー犯罪捜査や鑑識など障がいのある方も能力を発揮できる分野が多くある。熱意を持った方がいれば、ぜひ検討していただきたい」旨の説明がなされた。

○ 2025ワールドカップ寧波大会（スポーツピストル競技）の出場結果について

警察本部から、本県警察女子拳銃特別訓練員の、2025ワールドカップ寧波大会（スポーツピストル競技）の出場結果について、報告がなされた。

公安委員から「国内外への大会出場で大変と思いますが、引き続き頑張っていたきたい」旨の発言がなされた。

○ 監察事項について

警察本部から、監察事項について、報告がなされた。

○ 行政不服審査法に基づく審査請求の受理について

警察本部から、運転免許の取消処分を受けた者から提出された行政不服審査法に基づく審査請求書の専決受理に関し、審査請求年月日、審査請求人等、審査請求に係る処分、審査請求の趣旨及び理由等について、報告がなされた。

公安委員から「事実関係を正確に把握し、適切に対応していただきたい」旨の発言がなされた。

○ 「交通安全川柳コンテスト」の審査結果について

警察本部から、大分県内在住の高齢者から交通安全に関する川柳を募集した「交通安全川柳コンテスト」の審査結果に関し、募集期間、入賞作品等について、報告がなされた。

公安委員から「審査はどのようなメンバーで行ったのか」旨の発言がなされ、県警本部から「県警察のほか、大分県番傘川柳連合会や大分県交通安全協会等と審査を行ったもの」旨の説明がなされた。

○ 「ツール・ド・九州2025」開催に伴う交通対策について

警察本部から、令和7年10月13日に開催される「ツール・ド・九州2025」大分ステージに伴う交通対策に関し、レース概要、交通対策等について、報告がなされた。

公安委員から「事故なく、円滑にレースが行われるよう、交通対策に万全を期していただきたい」旨の発言がなされた。

そ の 他

○ 交通安全施設等の適切な管理について

公安委員から「信号の予告灯に木が覆い被さっていたり、道路に草木が覆い被さるなど危険な場面を目にすることがある。適切な管理をお願いしたい」旨の発言がなされ、警察本部から「道路交通環境の整備には、県警が所管する交通安全施設と県等の道路管理者が所管する道路施設があることから、同管理者と連携を取り適切に対応してまいる」旨の説明がなされた。

○ 科学捜査研究所における鑑定について

公安委員から「佐賀県警察におけるDNA鑑定の不適正事案は社会的反響が大きいが、大分県警察では確認を行っているのか」旨の発言がなされ、警察本部から「当県警では、これまでも個別の鑑定ごとに複数の職員による確認や関係書類間の突合などを実施し、その都度問題がないことを確認している。他方で、佐賀県警の事案を他人事とせず、更なるチェック体制の強化を図るための対策を進めてまいる」旨の説明がなされた。